令和7年9月17日

令和7年度　やまがた中高年世代活躍応援プロジェクト協議会事業実施計画支援一覧表

項目		取組	具体的施策（事業等）	KPI（重要業績評価指標）期間：１年間	実施主体 行政 局	行政 県	行政 経産局	経済 5団体	労働 団体	業界団体 銀行	業界団体 社協	支援団体 機構	支援団体 県精神	支援団体 発達研	市町村 市	市町村 町村
1　不安定な就労状態にある方（不本意非正規雇用労働者等）																
	（1）相談支援	①ハローワークのチーム支援体制拡充	【支援窓口設置、チーム支援実施】 ・ハローワークやまがたに支援窓口設置 ・就職支援チーム結成し伴走型支援を実施	○ハローワーク紹介による正社員就職件数 **1,320件以上** ※R6年度実績 **1,317件** ○企業内正社員転換数 **462件以上** ※R6年度実績 445**件**	●											
		②就職活動における悩みや課題の共有・解決の場を提供	・就職面談会・相談会等の開催（委託事業）		●											
		③ジョブカフェにおける就職・職場定着支援	・窓口相談、出張相談 ・キャリアカウンセラー等による相談事業			●										
		④入職者、企業に対する職場定着支援	・支援機関から本人への定期的フォロー ・経済労働団体傘下企業への周知活動 ・企業向け職場定着セミナー（委託事業）		●	●		●	●							
	（2）職業能力開発などに向けた支援	①資格習得の支援、出口一体型の訓練支援や働きながら受講しやすい訓練の提供及び訓練期間中の経済的支援	【求職者支援訓練におけるコース設定の要件緩和】 ・特定の訓練期間や訓練時間の下限緩和 ・夜間、土日、eラーニング等の訓練提供 【求職者支援制度】 ・職業訓練受講給付金の支給		●							●				
		②生活福祉資金の活用の周知 （技能取得経費、訓練期間中の生計維持のための貸付）	・関係機関窓口でのPRやHP等メディアの活用 （ハローワーク、ジョブカフェ、機構等）								●					
	（3）マッチング支援	①中小企業とのマッチングイベント開催	・企業説明会、就職面接会、職場見学会等開催		●	●	●	●								
		②ハローワークのチーム支援体制拡充　※再掲	1．（1）①と同様		●											
		③ジョブカフェにおける就職・職場定着支援　※再掲	1．（1）③と同様			●										
	（4）地域の企業向け支援	①各種助成金の活用促進	・トライアル雇用助成金（一般トライアルコース） ・特定求職者雇用開発助成金（中高年層安定雇用支援コース） ・キャリアアップ助成金（正社員化コース） ・人材開発支援助成金（人材育成支援コース）		●	●		●		●						
2　長期にわたり無業の状態にある方																
	（1）相談支援	①サポステの相談体制整備	【地域若者サポートステーション事業】 ・年齢上限39歳から49歳に拡大し支援対象にする	○サポステ支援新規登録者数 **135件以上** ※R6年度迄過去5年累計実績 672件 （年平均134.4件） ○サポステ支援による進路決定者数 **90件以上** ※R6年度迄過去5年累計実績 435件 （年平均87件）	●											
		②サポステ相談体制拡充	・個別相談、職場体験等就職支援、定着支援 ・ステップアップ事業等の実施													
		③サポステによる就労支援	・臨床心理士等による相談事業 ・コミュニケーション能力開発事業 ・アルバイト型勤労体験事業		●	●										
	（2）職場体験の機会の確保	①受入れ企業の確保、拡大	・協議会構成団体傘下企業等への協力依頼		●	●		●								
3　社会参加に向けたより丁寧な支援を必要とする方																
	（1）相談支援	①「自立支援センター巣立ち」による相談・支援	・ひきこもりの「第一相談窓口」としての相談支援	○各市町村における相談窓口明確化と県全体のネットワーク構築 ○地域取組と県ネットワークが連携して活動し、当該事例の検証を行う		●										
		②県や市の自立相談支援機関による相談・支援	・生活困窮者（ひきこもりを含む）の自立に向けた相談支援			●									●	●
		③県内8か所の若者相談支援拠点における相談・支援	・電話・来所・訪問・メール等による相談支援の実施 ・出張相談会、その他居場所支援や体験活動等の実施			●										
	（2）関係機関とのネットワーク形成	①県「子ども・若者支援協議会」や「県ひきこもり支援ネットワーク会議」の開催による情報共有・意見交換	・関係機関同士の情報共有・意見交換など			●										
		②県庁内の「ひきこもり支援タスクフォース」における情報共有・施策連携	ー			●										
		③市町村のネットワークとの連携	・個別の地域の取組等との連携		●	●							●	●	●	●
4　対象横断的な取組		①中高年世代応援の重要性、取組内容の周知・啓発	・メディアの活用や各団体・関係機関ＨＰ等の活用 ・協議会構成団体傘下企業等への周知活動		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		②取組成果を適宜評価し、必要な改善に努める	・事務局にて必要データや情報の収集・整理を行う		●	●										
		③地域ＰＦとの緊密な連携と情報の収集	・情報共有体制整備		●	●										